

## PRESTO® A30

# 6Lのガラス反応容器を -10 °C から +20 °Cに加熱運転

### 目的

このケーススタディのテストでは、PRESTO® A30と6Lのガラス反応容器を接続して、加熱試験を行っています。PRESTO® A30 は2mのメタルチューブで接続されています。PRESTO® A30 は、-10°Cから+20°Cへの加熱運転を行っています。



### 環境

室温	+20 °C
湿度	45%
電源	230 V / 50 Hz

### 試験条件

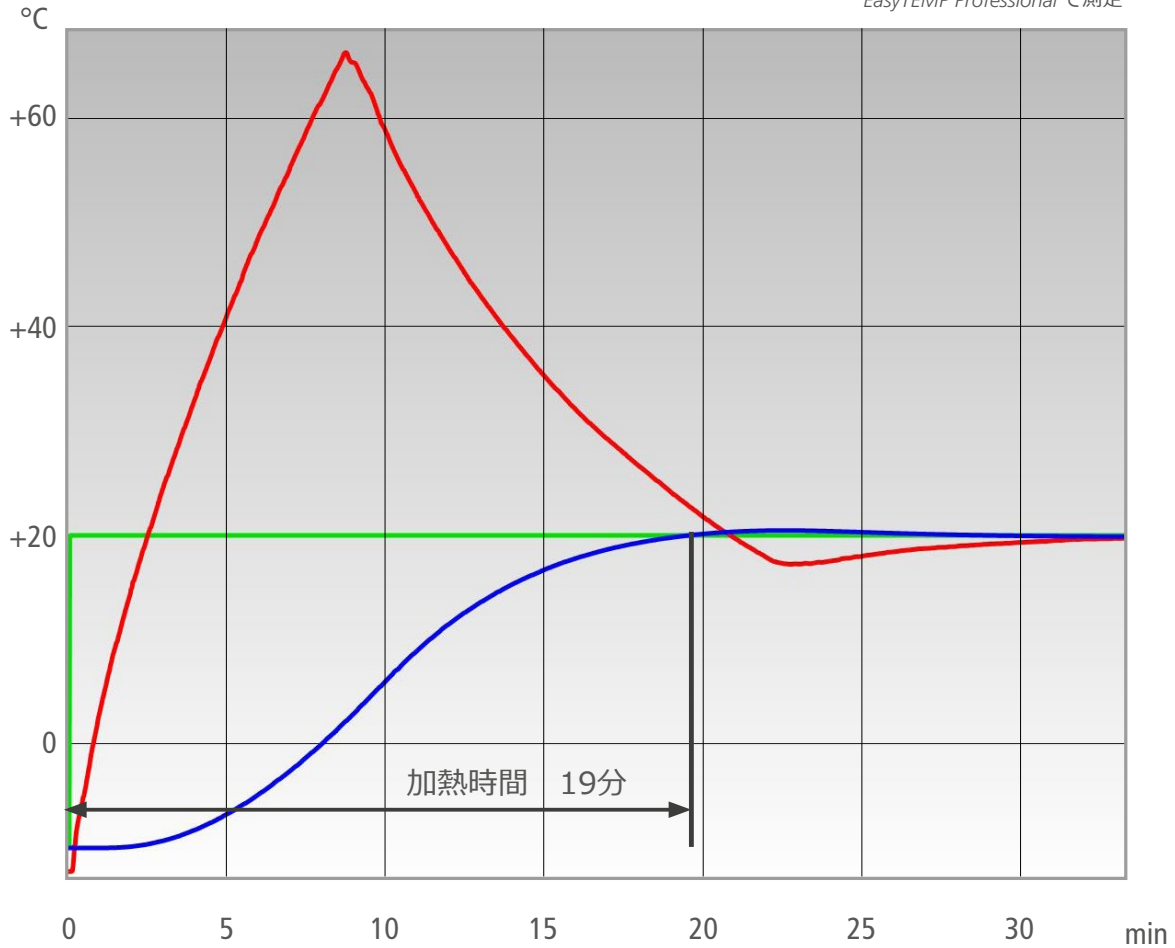
使用機種	PRESTO® A30
冷却能力	+20 °C 0.5 kW 0 °C 0.4 kW -20 °C 0.2 kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL60
反応容器	6Lガラス製反応容器 (QVF) (容器内にはユラボ社製 サーマルHL60を5L充填しています)
ジャケット容量	4.5 L
温度制御	外部制御(ICC)



試験結果

PRESTO®A30の加熱運転では、-10℃から+20℃へ19分でオーバーシュートなしで到達しました。

EasyTEMP Professional で測定



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度

**その他機能**  
 容器の保護：  
 “バンドリミット”機能  
 (上記参照)で、  
 容器内部温度と  
 ジャケットの温度差を  
 制限して設定する事が  
 できます。

**その他機能**

無償版の EasyTEMP  
 ソフトウェアを使用  
 することにより、  
 PCで装置を  
 コントロールしたり  
 温度データを画面上に  
 表示させることが  
 可能になります。